

令和5年度 6月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	21回
2	延べ従事補導委員数	74人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	1人
5	声かけ人数	341人



6月の補導日誌から

6月1日(木) 専門補導委員 記

巡回経路 ビデオレンタル販売店 → 曾根公園 → 仙祿湖公園 → 久保田公園
→ 枇杷坂公園 → 岩村田駅 → ゆりのき公園 → 市民交流ひろば

補導の様子

大型台風の影響で、県内でも大雨となるおそれがあるというが、車に乗り込むと冷房がほしい。ビデオレンタル販売店に立ち寄ると、客はまばらであったが、2人の店員さんは忙しそうにレンタルビデオの整理をしていた。しばらく眺めているとこちらに気付き、仕事の手を止めて親切に対応してくれた。「子どもたちは親子で来店することがほとんどで、近くに高校がないためか、高校生が店に立ち寄ることはない」と話してくれた。曾根公園、仙祿湖公園、久保田公園、枇杷坂公園に寄ったが人影はなかった。市民交流ひろばは、大勢の親子連れでにぎわっていた。サッカーを楽しむ父子、砂遊びを見守る母親、シャボン玉遊びをする幼児など楽し気な光景が広がっていた。歩き始めた子どもを遊ばせていた女性に話しかけると、たどたどしい日本語の返答が返ってきた。近くに住む中国人だというその女性は、日本に住んで10年になるという。母親だと思い込んでいたが、祖母であることを知ってそのことを伝えると、恥ずかしそうに微笑んだ。こちらも恐縮してあわてて頭を下げた。

6月2日(金) 専門補導委員 記

巡回経路 中込中学校 → 佐久城山小学校 → 佐久城山児童館 → 臼田駅
→ 田口児童館 → 中込小学校 → 中込児童館 → 成知公園

補導の様子

台風や前線の影響で雨が降り続く中、通学路や子どもの様子を確認するために、巡回に出発した。いつもなら小・中学生の姿を多く見かける通学路にも、さすがに今日は子どもの姿がない。それでも中込方面では、数名の中学生が足早に下校するところだった。中込中学校は、すでに生徒は下校していて、校庭には大きな水たまりができています。近くの河川も増水していて、危険を感じる。佐久城山小学校では、学校職員が雨合羽を着て、児童の迎えに来校する保護者の誘導をしていた。となりにある佐久城山児童館は、親を待つ子どもたちで込み合っていた。田口児童館に立ち寄ると、「臼田小学校は授業を打ち切り、生徒の迎えを保護者に要請している。そのため児童館は閉館している。児童の動向をいち早く知るために、緊急通報システムの通信手段が欲しい」と館長さんが話してくれた。中込

小学校に子どもの姿はなく、中込児童館には、休館の看板が掲げられていた。雨は少し弱くなったように見えるが、大きな被害がないことを切に願う。

6月5日(月) 1班 (K・M) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー

補導の様子

大型スーパー内のゲームコーナーでは、いつもの様子で親子連れの子どもたちでにぎわっていました。フードコートは、いつもは高校生たちがいますが、今日はいませんでした。天気も良く、運動会の振替休日でもあり、市民交流ひろばは大勢の子どもたち・保護者がいました。楽しそうに遊んでいました。市民交流ひろば周辺にはあまり人がいませんでした。佐久平駅小海線ホームは、多くの高校生が降りてきました。楽しそうに会話をしている姿が印象に残りました。プラザ佐久の休憩コーナーでは、スマートフォンを使っている高校生がほとんどでした。陽気も良くなってきたので、高校生の表情も明るく言葉も交わって安心しました。

6月6日(火) 9班 (U・Y) 記

巡回経路 東田公園 → 鍛冶屋公園 → 野沢児童館 → 中嶋公園
→ 原公園 → 城山公園

補導の様子

初めての街頭補導活動をおこなった。道中、右側走行する自転車があったので、運転していた男児に指導した。突然話しかけられても、真面目に話を聞いていて感心した。その後、児童館で館長さんに話を聞いた。今回、天候がすぐれなかったため、あまり青少年を見かけなかったが、次回以降は、頑張って青少年に声かけができればと思いました。

6月7日(水) 2班 (K・T) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター → パチンコ店

補導の様子

Week day の夕方のためか訪問した店舗内には、10~20人程度のお客しかいなかった。20~30歳代が主で、高齢者も散見されたが、未成年者はいなかった。ゲームセンターには孫と入ったことがあるが、パチンコ店に入ったのは約40年ぶりだった。「タバコの煙と大音響の空間」というイメージを抱いていたが、店内に入ってみると店内は完全禁煙であり、静かで心地よい音楽が流れていた。以前、パチンコ店の駐車場で車内にいた子どもが熱中症で死亡したという事件が報道されたことがある。このような痛ましい事件が起こらないよう切に願うものである。「自己愛(欲望)は、家族愛をも凌駕する」。この言葉を現代社会の「戒め・教訓」としたい。



6月8日(木) 13班 (I・K) 記

巡回経路 中込駅 → 横町公園 → 佐久城山児童館 → 平賀新町公園
→ 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 学童クラブ → 成知公園

補導の様子

曇天ですが、穏やかな午後です。佐久城山児童館には100名程の児童が利用しているとの館長さんの話です。児童は各々遊びをしたり宿題をしたりしていま

す。久しぶりに児童のにぎやかな声を聞けました。平賀新町公園には2名の児童がいました。草が伸びて一部見えづらい場所がありました。チビッコ元気クラブは10～13名の児童が庭で楽しそうに駆け回っていました。成知公園では20～25名がサッカーをしていました。他の公園では児童の姿は見かけませんでした。中込にこれほど沢山の公園があることを知りませんでした。

6月9日(金)

16班 (I・K) 記

巡回経路 あいとぴあ → 下越児童館 → 臼田小学校 → 稲荷山公園
→ 臼田駅 → 田口通学路 → あいとぴあ

補導の様子

今年度初の巡回、全員参加していただき、有意義な街頭補導活動ができました。新臼田小学校が開校したことにより、児童館の状況を確認するため、下越児童館を訪問させていただきましたが、予想どおり利用者は増加していました。昨年度までは、平日10人程度であった利用者が、現在は30人前後まで増加していました。市内の児童館では唯一園庭がないため、各部屋は手狭で、2階の部屋は運動用に利用されていました。大勢の子どもの管理に苦慮している様子を伺い、頭の下がる思いでした。稲荷山公園では、一人の男性が読書をしていましたが、児童はいませんでした。臼田駅では、電車の発停車時刻と合わず、高校生と会うことはできませんでした。新臼田小学校開校に伴い、通学路が変更され、慣れない道路を登下校するので交通事故に遭わないようにと願っています。

6月12日(月)

10班 (S・T) 記

巡回経路 城山公園 → 原公園 → 中嶋公園 → 岸野児童館

補導の様子

雨が降りそうだったので、自動車で回りました。最初の城山公園では小学生2人が遊んでいましたが、特に声かけはしませんでした。原公園では小学生が集まってゲームをしていましたので声をかけました。みんな近所の子どもたちでした。中嶋公園はベンチに高校生が2人いるぐらいで静かでした。最後に岸野児童館に行きました。いつもより多くの子どもたちが遊んでいました。コマが流行っているようでした。



6月13日(火)

3班 (T・H) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 佐久平駅前交番
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート

補導の様子

市民交流ひろばには、家族グループ数組のほか、野球の練習をしている2名の少年がいました。声かけすると、中2と中3の中学生で野球のシニアリーグに所属しているとのことでした。将来は日本代表選手としてWBCに出場したいと夢を語ってくれました。佐久平駅前交番に立ち寄り、交番所長さんから最近の犯罪や少年非行の状況についてお聞きしました。特に大きな犯罪や少年非行はないとのことでした。大型スーパー内のゲームコーナーは、スペースの約半分が改修工事をしていました。女性の従業員さんは「遊技機などの入れ替えをし、近日中に改装オープンする」と話してくれました。

6月14日(水)

14班 (K・K) 記

巡回経路 中込駅 → 成知公園 → 中込児童館 → 大型スーパー → 中込駅

補導の様子

日中の降雨も、街頭補導活動を開始した時間には傘の必要がない小雨程度となり、涼しく歩くことができました。中込駅から成知公園に向かう途中では、小学生に会うことはありませんでした。ところが、成知公園に近づくと、公園の方から元気な声が聞こえてきました。そこには女子中学生が10名くらいで楽しそうに話をしていました。下校途中、名残を惜しんで話をしているとのことでした。また、あずまやでは雨宿りをして話したりゲームをしたりする小学生がいました。どの子もあいさつを返してくれました。その後、中込児童館に移動すると庭で遊ぶ児童はおらず、70名ほどの児童が屋内で遊んでいました。館長さんから「中込児童館だより6月号」を頂くなど、親切に対応していただきました。

6月15日(木)

4班 (T・A) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート → 砂田公園 → 近津南公園 → 佐久平浅間児童館 → 大型スーパー

補導の様子

市民交流ひろばや大型スーパー内のゲームコーナー等で高校生に声かけをしたが、明るいあいさつを返してくれた。これまで、補導委員の皆さんが声かけをしてきてくれた成果だと思った。あいさつ・声かけが交流や関係づくりの第1歩だと思うので自分もこれから1年、できるだけ多くの子どもたちにあいさつや声かけをして行きたいと思った。市民交流ひろばでは、8人程の高校生がいた。そのうちの3人の女子生徒に話を聞くと、「今日で定期テストが終わった」とのことだった。笑顔で応えてくれた女子生徒に会えて、補導活動初日がとてもうれしくなった。これからもできる限りの声かけをして、短時間ではあるが、子どもとのつながりをつくって行きたい。また、市民交流ひろばで草刈り作業中の方から、佐久平浅間小の児童制作による「鯉太郎バルーン」の形をした花壇を教えていただいた。地域のいろいろな方に子どもたちが支えられていることを知った。

6月19日(月)

18班 (Y・K) 記

巡回経路 浅科支所 → 庄ノ上公園 → 十二川原公園 → あさしな児童館 → コンビニ(カラオケ店) → 浅科支所

補導の様子

梅雨の中休み、暑い日が続いている。補導委員改選後、初めての街頭補導活動を実施した。補導委員全員の集まりがよく、浅科支所を早めに出発した。庄ノ上公園、十二川原公園は利用者がなく閑散としていた。両公園とも、草が生い茂り遊ぶには少し危険だと感じた。十二川原公園付近の新幹線高架橋(千曲川左岸)の落書きは、きれいに消されていた。あさしな児童館には、約50人が利用していた。庭やホールで遊ぶ児童、学習室で宿題をする児童がいた。今年は1年生の児童が多いそうである。今日も半数以上が1年生の児童であった。次のコンビニへ向かう途中、中学校前を通ると閑散としていた。後で確認すると、計画休業とのことであった。コンビニでは店長さんに話を聞いた。「ここ最近の生徒はおとなしく、買い物には来るが問題行動はない」とのことであった。コンビニの裏に放置自転車が1台あり、店長さんに処理をお願いした。

6月20日(火)

5班 (T・R) 記

巡回経路 浅間会館 → 砂田公園 → 中佐都児童館 → 赤岩公会場
→ 近津南公園 → ねむのき公園 → やまぼうし公園 → 浅間会館

補導の様子

新メンバーによる初の街頭補導巡回、まずは地元中佐都児童館へ。訪問時、61名利用中とのこと。どの部屋も子どもたちでいっぱい、大賑わいでした。みんな元気にあいさつしてくれました。中には、人気芸人のフリ真似で「コンニチワ」と。赤岩公会場玄関ではゲームに興じる子一人。しばらくして対戦型ゲームの相手か一人が合流。自宅以外でゲームをするときの心得を話しておく。いくつかの新しい公園も巡回。四阿(あずまや)でやはりゲームに興じる子どもがいました。今日は、多くの子どもに会えて良かったと思います。

6月21日(水)

6班 (K・I) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー

補導の様子

今日は、梅雨らしく涼しい日でした。市民交流ひろばでは、寒さを感じる中、父子が水遊びをしたり、何組かの若い家族が走り回ったりしていた。また、中学生4名が野球(ボールの代わりにペットボトルのキャップを利用)をしていたが、私たちの姿を見ると「こんにちは」のあいさつがあり、清々しさを感じた。ミレニアムパークでは、数人の成人がバスケットをやっていた。日頃の子どもの様子を伺ったところ、「小さな子どもたちは、この時間帯は見かけない」とのことだった。大型スーパー内のゲームコーナーでは、数人の子どもが遊んでいたが、従業員さんが子どもたちに声かけをやってくれているとのことだった。これから、皆で子どもたちを見守っていかれたらと思った時間でした。

6月22日(木)

11班 (T・T) 記

巡回経路 野沢南高校校門 → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園

補導の様子

本日はかなりのどしゃぶりの雨の中、初の補導活動でした。班員の皆さん全員が集まり、巡回路をたどりながら、車で移動しました。激しい雨ということもあり、中嶋公園、原公園、城山公園には誰もいませんでした。野沢児童館に立ち寄りさせていただきましたが、外遊びができないため、館内はとてにぎやかでした。目の合った子どもたちは、次々に「こんにちは」と声をかけてくれました。子どもの元気な姿を見ていると、自分も元気をもらうことができ、とてもうれしく思いました。



6月23日(金)

17班 (S・Y) 記

巡回経路 下の宮公園 → 臼田児童館 → 稻荷山公園 → 切原児童館

補導の様子

梅雨時の雨を心配していたところ、やはり雨模様となっていました。しかし、巡回寸前、一転晴れ間となりました。臼田交番の所長さんのお話では、子どもたちはよく公園で遊んでいるとのこと、楽しみにしていましたが、下の宮公園、稻荷山公園ともに人影がありませんでした。臼田児童館では、元気な子どもたちの声を聞くことができました。館長さんのお話では、本日は新臼

田小学校の校内音楽会が開催されているとのことで、利用者は普段よりも少ないとのことでした。公園で子どもたちを見かけなかったことにも、納得がきました。切原児童館は、普段15～16名の利用者があるそうですが、本日は4名ほどの利用者でした。大きな声であいさつしてくれるすばらしい子どもたちの健やかな成長を願いました。



6月26日(月) 7班 (I・H) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ 曾根公園 → 仙祿湖公園 → 久保田公園

補導の様子

中体連東信大会後の計画休業により、大型ゲームセンターには午前中から子どもたちの出入りがあったとのこと。訪れた時間帯には、10名以上がゲームを楽しんでいた。親子連れの姿も見られた。

6月27日(火) 15班 (T・R) 記

巡回経路 中込駅 → 横町公園 → 平賀新町公園 → 佐久城山児童館 → 旧平賀保育園
→ 城山保育園 → 佐久総合運動公園 → 中込中周辺 → 佐太夫町公園

補導の様子

梅雨の合間の蒸し暑い時間帯。中込駅前のグリーンモールにある有料と隣にある無料のフリースペースを訪問した。有料箇所は施錠されていて見ることはできなかったが、無料のフリースペースは見る事ができた。利用者はなかったが、イスやソファがあり、学習やゲームができる良い場所と思えた。しかし、清掃が不十分で、たまり場の的存在となってしまうと、かえって悪影響を与える場となると思えた。佐久城山児童館は、100人を超える児童が利用していた。1・2年生は児童数の約半数が利用すると聞いた。その後、旧平賀保育園・城山保育園・佐久総合運動公園等を巡視したが異常はなかった。道路脇でカバンを背負ったままの5年生の男子2人が、近くに住む子が持ってきたというゲーム機でゲームをしていた。野外でもゲームする姿に家の中ではいったいどのくらいの時間夢中になるのだろう。ゲーム脳になってしまう子たちを想像して、対策を講ずる必要性を強く感じた。初回の補導でしたが、自分としては、多くの収穫があった。

6月28日(水) 12班 (M・S) 記

巡回経路 東田公園 → 取出町ふれあい公園 → 高柳公園 → 鍛冶屋公園
→ 野沢児童館 → 中嶋公園 → 城山公園 → 原公園

補導の様子

今回が初めての巡回であり天気も雨模様のため、車で回ることとなった。取出町ふれあい公園・高柳公園・中嶋公園には、子どもの姿はなかった。東田公園・鍛冶屋公園・城山公園・原公園には、数人が自転車やボールで遊んでいたが、いずれの公園も人影が少ない寂しい景色であった。いつもは、たくさん子どもたちが元気に遊んでいるのだろう。原公園では、私たちが近づくと男の子が「こんにちは」とあいさつしてくれた。野沢児童館に行くと、大勢の子どもたちが庭で遊んでいた。館長さんにあいさつし、話を伺うと「今日は75人くらいが来ており、天気が良くないが外で遊べてよかった」と話してくれた。普段は、80～100人くらいが来館するとのことだった。

6月29日(木)

19班 (H・M) 記

巡回経路 望月宿公園 → 佐久良公園 → 大型スーパー地下駐車場
→ 若駒児童公園 → 望月児童館 → 望月バスターミナル

補導の様子

気温 30℃を超える暑い日だった。佐久良公園では、児童2人が楽しそうに自転車に乗っていた。一緒に来たという祖父は「この公園は手入れがされており、安心して遊べるのでよく来る」と言っていた。若駒児童公園に着いてすぐ、下校途中の1人の小学生があいさつしてくれた。複数の大人がいても物怖じせず、率先してあいさつできるのは教育や躰が行き届いている証拠だと感じた。望月児童館のこの日の利用は約60人。巡回時はその半分程度だった。児童数名と話をしたが、マスクの下は笑顔にあふれていた。見覚えのある子に「覚えている？」と聞いてみた。首をかしげたので寂しく思ったが、すぐさま「私は覚えていないけど、覚えていてくれてありがとう」との言葉が返ってきた。『ありがとう』は魔法の言葉。心がうれしい気持ちでいっぱいになった。声かけの研修は受けていたが、実践は難しく、専門補導委員の方の会話のきっかけは大変参考となった。

◀ 6月の補導を終わって。 専門補導委員 Y・K ▶

昭和天皇が那須御用邸で静養中、宮内庁職員が吹上御所の草刈りを実施、『雑草』を刈り残してしまい、お帰りになった昭和天皇に侍従がお詫びしたところ、昭和天皇は「『雑草』という名の植物はない。どんな植物でも、みな名前がついている。それぞれ自分の好きな場所で生を営んでいる。人間の一方的な考え方でこれを『雑草』として決めつけてはいけない」とおっしゃったというエピソードをかつて耳にしたことがありました。毎朝、出勤前にNHKの連続テレビ小説(通称 朝ドラ)を見る習慣となった小生ですが、植物学者の牧野富太郎博士の半生をドラマ化した番組「らんまん」が放映中であり、毎回視聴しています。朝ドラの中で主人公の「どの草花にも必ずそこで生きる理由がある。この世に咲く意味がある。・・・」というセリフに感動しました。牧野博士が昭和天皇に植物学についてご進講したことがあるようで、もしかしたら昭和天皇のお言葉は牧野博士のお話に感銘を受け、侍従にお話されたのかもかもしれません。

昨今、いじめ、不登校、児童虐待、子どもを対象とした殺人事件等、子どもを取りまく環境は非常に厳しくなりつつあると感じています。子どもに接する時、それぞれの個性を持っている子どもに一括りで接するのではなく、昭和天皇や牧野博士がおっしゃっているように、それぞれの子どもが持っている個性を理解し、大切にしながら、街頭補導活動を行いたいと思うこの頃です。

6月から補導委員の皆さんと一緒に街頭補導活動を行うようになりました。「少年たちへの暖かい思いやりの精神」を基調とし、これからも、社会の宝であります少年が健全に育成されるよう、益々の活動をお願いいたします。地球温暖化の影響でしょうか、猛暑日が当たり前になりつつある暑い夏になります。くれぐれもご自愛ください。

【お願い】

- ◎ 都合がつかず、やむを得ず街頭補導活動を欠席される際は、必ず
少年センター 事務局 ☎ 0267-62-0671
に電話してください。
- ◎ 補導日誌は、街頭補導活動の翌日から3日以内に投函してください。